



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り

令和4年7月14日発行

第6号

(文責 校長 出口雄三朗)

「体験活動」→「感じたこと」→「言葉にする！」

～1・2年生～

1年生と2年生が縦割り班を作って校内探検をしました。校長室にも来てくれましたが、2年生は少し緊張気味でした。「おじゃまします！」と挨拶しながら、1年生を連れて入って来て、「校長室には校長先生がいます。校長室にはこんなものがある、ここで校長先生がお仕事をします。」と説明していました。

さすが先輩！まだまだ小さい・・・と思っていましたが、2年生は1年生より一つ上の先輩として立派に後輩をリードしていました。きっと今日のことは少し自信になり、また一つ成長することだと思います。

1年生もそんな2年生の姿を見て少し緊張気味でした。来年はきっと立派な先輩になると思います。



～4年生～

和歌山県の取り組みの一環で、青梅と砂糖をいただきました。和歌山県の名産の梅を使って「梅ジュース」を作る取り組みです。梅を上手に並べ、梅と砂糖を交互に入れていきます。梅ジュースを購入することはあっても、作る経験をするのはなかなかありません。自分たちで作った梅ジュース・・・楽しみですね。



～6年生～

6年生は自分たちの地区を防災の観点で探検する「BOUSAI 町探検」に出かけました。班ごとに、地域や保護者の方々に引率していただきながら回りました。いつも目にしているのにあまり意識していない「防火設備」の位置を確認したり、中に入っているものはどんなものか、消火栓はどこにあるかなど確認しながら探検しました。自分の住んでいる地区なので知っている・・・と思っていたけれど、新しく知ったことが多かったようです。新しく知ったことをもとに、今後は「防災マップ」を作成していく予定です。



各学年とも、ここには紹介しきれないくらいたくさんの体験活動を行っています。自分の体で、目と耳で、感じたことは子どもたちにとって宝物です。体験するからこそ、たくさんの気づきがあり、気づくからこそ「なぜ」という疑問がわき、子どもたちなりに考えるきっかけになると思います。

そして考えたことをもとに、その考えを言葉にします。言葉にするからこそ、より深く考えることができます。保田小学校生は「体験」→「実感」→「考える」→「言葉にする」を頑張っています。